

## インターネットとテレビの関係の変化

07L4344 中西 亜紀

### 1. テレビの歴史と発達

世界初のテレビ放送は 1928 年にアメリカ・WGY 局が行い、日本初のテレビ放送は 1953 年、NHK により開始された。現在では極めて高い普及率を誇り、日本国内では 1959 年以來広告メディアとしてトップの地位を守り続けているものの、娯楽の多様化やインターネットの普及による視聴率低下などにより、テレビのメディアとしての価値は下がり始めてきている。

### 2. テレビとインターネット配信

#### 2.1 さまざまなサービス

##### (1) 動画投稿・共有サイト

一般利用者が自由に動画を投稿・視聴できるサイト。

例：YouTube、ニコニコ動画 など

##### (2) ライブビデオストリーミング

Web カメラなどを利用して手軽に生中継を行えるサイト/サービス。

例：Ustream、Justin.tv など

##### (3) ビデオオンデマンドサービス

ネットに接続されたパソコンやテレビで、好きな時に好きな番組を視聴できるサービス。

例：NHK オンデマンド、第 2 日本テレビ、ひかり TV

##### (4) モバイル端末とスマートフォン

近年では携帯電話の性能の向上やさらに高性能なスマートフォンの普及、無線 LAN の利用範囲の拡大などもあり、外出先でのモバイル視聴が可能となっている。

#### 2.2 米国と日本の違い

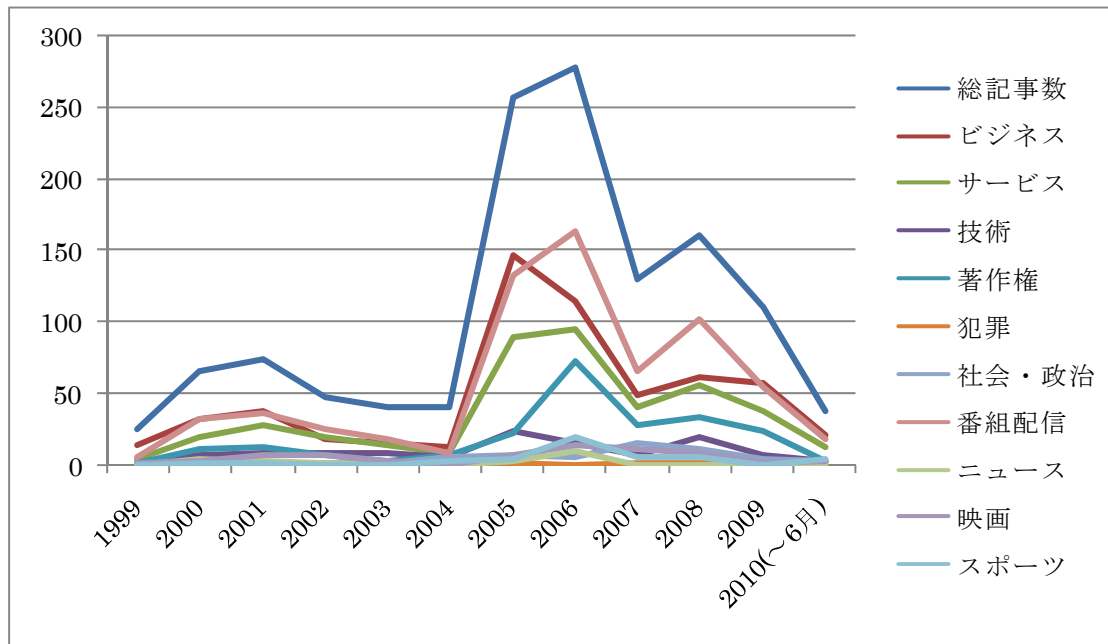
アメリカでは各テレビ局が 2005～2006 年から放映した番組のインターネット配信を開始し、現在ではほとんどすべての番組がインターネットで視聴できる。日本でも日本テレビによる「第 2 日本テレビ」、NHK の「NHK オンデマンド」などテレビ番組の配信サービスは行われているが、アメリカと比べると小規模なものに留まっている。

アメリカでは現在、apple 「apple TV」、ソニー「インターネット TV」など、インターネットで配信されている動画を視聴することに特化した製品も登場している。

### 3. 調査

インターネットとテレビの関係に関して、いづごろ、どんなことが問題・話題となったのかを、新聞記事から調査した。中日、朝日、読売、日経の4紙のデータベースにて「テレビ ネット配信」のキーワードで検索。合計回答数は1273件であった。これらの回答の書式を整理し、Excelにて一覧表を作成。記事の内容により分類し、グラフ化を行った。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
1	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列1	列1	列1	列1	列1	列1	列2	列2	列2	
2											1									
3	日経	19921017	山形テレビの広告料金交渉、フジテレビ打ち切り。																	
4	日経	19970730	インターネット 社会インフラ問題への挑戦(下) 混雑する回線——交通整理に商機あり。																	
5	読売	19970917	阪神大震災特集 何を学んだか 防災情報、FM不可欠 規制緩和で開局相次ぐ																	
6	日経	19980114	写真など著作権を管理、デジタル化で保存、日立や富士通——利用者、権利手続き不要。																	
7	日経	19980315	人物概要——漫画家松本零士氏(日曜版)																	
8	中日	19980928	木村太郎の国際通信 インターネット 世論																	
9	日経	19990201	販売用ソフト、有料ネット配信、CDなどすみ分け可能——佐野元春氏に聞く。																	
10	朝日	19990227	CDが消える日 ヒット曲は自販機で(メディア新世紀:6)																	
11	日経	19990329	データ配信に新ビジネスの芽(景気指標)																	
12	日経	19990330	第2部、世界情報通信サミット 特集——基調講演 マイクロソフト 会長ビル・ゲイツ氏。																	



### 4. 考察

テレビとインターネットの関係は良好なものになってきたと言えるが、厳密にはテレビ側がインターネット側に譲歩したといった形である。広告費の変遷などから見ても、今後ますますインターネットでの動画配信がメディアとして成長することは間違いないと考えられる。